

【空港整備事業】  
 (直轄事業等)

事業名 事業主体	該当基準	総事業費 (億円)	費用便益分析			貨幣換算が困難な効果等 による評価	再評価の視点 (投資効果等の事業の必要性、事業の 進捗の見込み、コスト縮減等)	対応方針	担当課 (担当課長 名)
			便益の内訳及び主な根拠	費用・C (億円)	B / C				
新千歳空港 19(L) ILS双方向化 事業 北海道開発局 東京航空局	長期間継 続中	20				34	24	1.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗客に不安感を与える、空港上空での旋回や降下上昇を繰り返す回数が減少し、利用者の航空機に対する安心感が向上する。</li> <li>・悪天候時の離着陸に対する乗員の精神的負荷や実際のワークロードが軽減される。</li> <li>・就航率の向上、遅延の解消により、公共交通機関として必要な信頼性、定時性を確保することができる。</li> </ul>

【内訳】

- ①到着予定便のダイバート回避による便益：0.9億円
- ②到着予定便の欠航回避による便益：0.5億円
- ③出発便の欠航回避による便益：0.3億円
- ④遅延便の遅延回避による便益：27.6億円
- ⑤環境便益：0.2億円
- ⑥残存価値：4.6億円

【主な根拠】

直近過去3年間の欠航状況等